

ふるさと大月応援寄附

【寄附金の使いみちの概要】

平成26年3月までに寄せられた寄附金について運用状況をお知らせします。

・ふるさと大月を守り育てる事業

平成20年6月から平成26年3月までに「ふるさと大月を守り育てる事業」へ、皆さまから寄せられました寄附金について運用状況をお知らせします。

◎「ふるさと大月を守り育てる事業」に寄せられた寄附金、62件7,698,000円のうち1,236,000円を充当しました。

大月市制施行60周年記念事業（1,236,000円）

- ・『広報おおつき』印刷代（60周年記念誌面印刷）
- ・特別表彰記念品代（60周年記念式典）
- ・NHK公開ラジオ番組開催費（60周年記念番組）
- ・60周年記念観光振興協賛事業（アユ釣り大会イベント）
- ・「かがり火市民祭り」イベント開催費（60周年記念イベント）などです。

大月市制施行60周年とは

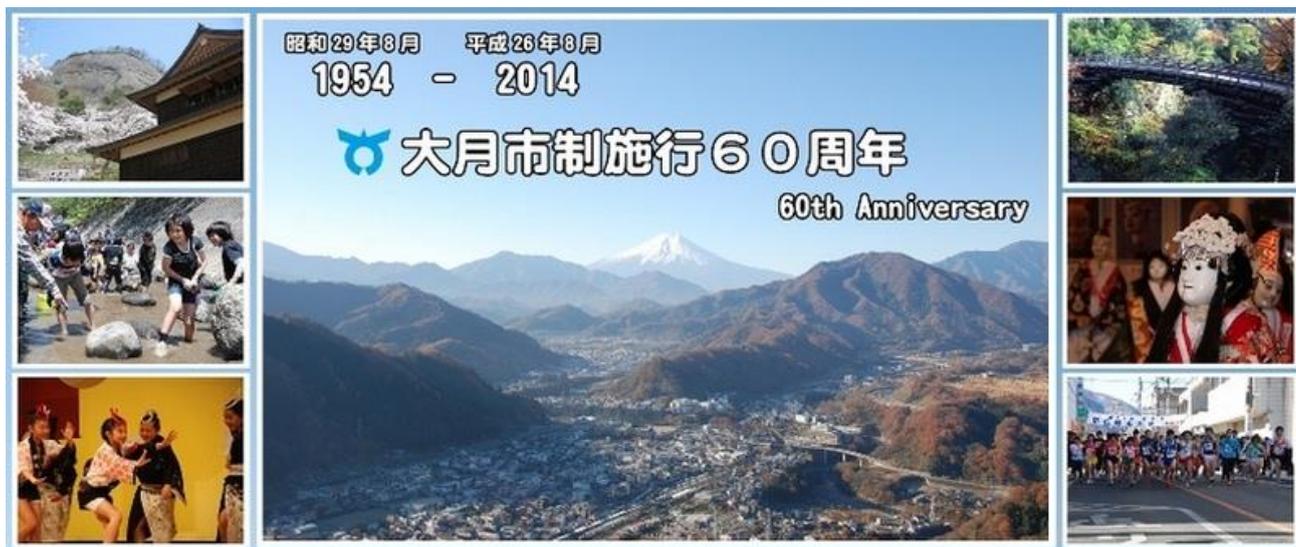
昭和29年8月に北都留郡の大月町、猿橋町、七保町、梁川村、初狩村、笹子村、賑岡村の3町4村が合併し、山梨県で6番目の市として市制が施行され、翌9月には、さらに富浜村を合併して現在の大月市となりました。

平成26年8月8日に大月市は、市制施行60周年を迎えました。

60年は、人間でいうと還暦の節目の年にあたります。

この記念すべき年を市民の皆さんとともにお祝いをしていくために、様々な記念事業を市や各種団体で開催しました。

今後も、まちづくりに有効に活用させていただきます。



※使途事業に割り振った後の残額は、平成27年度以降に活用させていただきます。

市制60周年記念NHK公開ラジオ番組の様子

番組を通じて、全国の皆さんに「大月市の60周年」をPRしました。
写真は、笹子追分人形についてゲストの方とPRをしている様子です。
他には、おつけ団子や、絹織物についての魅力を全国に発信しました！



市制60周年記念かがり火市民祭りの様子

昭和59年から大月市の阿波踊りの歴史がはじまり、市制60周年を記念して、阿波踊りの本場、徳島県から阿波おどりの連をお呼びし、「かがり火市民祭り」にご参加いただき、お祭りにお越しいただいた皆さんに本場の踊りを肌で感じていただきました。

